

健康福祉部障害福祉課
くらしと文化部文化・生涯学習推進課、スポーツ振興課

障害者週間（12月3日から9日）における取り組みのご紹介

I アイランド講演会「アイスランド共和国×『自分らしさ』～”Össur”とパラアスリート～」を開催します！

1 目的

市は、東京2020大会においてアイスランド共和国のホストタウンを務め、大会後は、駐日アイスランド大使館との間で友好協力関係に関する覚書を締結し、様々な交流事業を行っています。

この交流事業の一環として、アイスランド共和国とのつながりも深いパラアスリートによる講演会を開催します。障害者週間に合わせて開催するこの講演会を通じて、アイスランド共和国への関心を高めるとともに、市民の皆さんの障がい者理解の促進と誰もが活躍できる共生社会の実現を目指すものです。

2 日時・場所

令和4年12月4日（日）10時～12時 永山公民館5階 ベルブホール

3 内容

アイスランド共和国に本社を置く世界的義足メーカー『Össur 社』（オズール社）の義足を使用し、東京2020大会を含むパラリンピック4大会に出場された、中西麻耶選手による講演を行います。また、オズール社より『Össur Japan』（オズールジャパン）代表の楡木祥子様にお越しいただき、会社の概要や事業・取組などについてご紹介いただきます。

4 対象・定員

対象：どなたでも 定員：100名（申し込み先着順）

5 申し込み

電話・FAXまたは、オンライン申し込みフォームより、
①氏名②在住・在勤・在学・市外のいずれか③電話番号
④障害等の配慮事項（ある場合）、を
文化・生涯学習推進課 ☎338-6882、FAX 371-3711 へ



▲申し込みフォーム



▲講演会詳細

6 選手プロフィール

中西 麻耶 選手

出身地 大分県由布市

種目 走幅跳び T64クラス（下肢切断*義足）他

2008年 北京パラリンピック 100m 6位入賞/200m 4位入賞

2012年 ロンドンパラリンピック 走幅跳び 8位

2016年 リオデジャネイロパラリンピック 走幅跳び 4位入賞

2021年 東京2020パラリンピック 走幅跳び 6位入賞



写真提供：株式会社 RIGHTS.

7 Össur（オズール）社について

1971年に創業された同社は、アイスランドのレイキャビクに本社を置く、義肢装具の世界的企業です。「Life Without Limitation」（人々の制約の無い人生）の実現を掲げ、世界中の多くの人々のよりよい生活の質をサポートするために、医療専門家や教育機関等と幅広く連携し、研究や開発・設計等の業務を進められています。オズール社の革新的な義足は、中西麻耶選手の他、東京2020パラリンピックの陸上男子走り幅跳びで金メダルを獲得したマルクス・レーム（ドイツ）選手など、日本のみならず世界中の多くのパラアスリートに愛用されています。

2021年には東京を拠点とする「Össur Japan」（オズールジャパン）オフィスを設立され、革新的な義肢装具の供給やマーケティング活動、顧客支援など、日本国内における事業活動にも更に力を入れられています。また、アメリカ・アジア・ヨーロッパにもそれぞれ支社を持ち、30か国にわたり4000人以上のスタッフを雇用するアイスランド共和国の大企業です。

8 協力・後援

協力：Össur Japan 後援：駐日アイスランド大使館

<別添資料> ・講演会チラシ

II まち歩きしながらアートが楽しめる「みんなの美術作品展」を開催します！

1 概要

今年も、本市の魅力の創出・発信・実践に取り組む多摩市若者会議との協働により、「ぱらあーと 第32回多摩市みんなの美術作品展」を、12月4日（日）～11日（日）に、パルテノン多摩市民ギャラリーと豊ヶ丘・貝取商店街の2会場で開催します。市内を散策しながらアート鑑賞を楽しんでみませんか？

2 日時・場所

■ パルテノン多摩市民ギャラリー

令和4年7月にグランドオープンしたパルテノン多摩市民ギャラリーで、主に障がい者美術作品を展示します（昨年度は永山公民館市民ギャラリーで開催）。

日 時：12月4日（日）～11日（日）10時～18時（最終日は12時まで）

展示内容：絵画・陶芸・書道・手（工）芸などの美術作品等

■ 豊ヶ丘・貝取商店街

豊ヶ丘・貝取商店街で初めて開催します（昨年度は諏訪・永山商店街で開催）。商店街の集会所や店舗での展示、店舗前の空間を活用した大型・参加型作品の展示などを実施します。「せいせき音フェス2022」に出演したアーティストとのコラボ企画も検討中です。

日時・場所：豊ヶ丘4丁目集会所 12月4日（日）～11日（日）10時～18時

集会所の屋外・ピロティ 12月10日（土）・11日（日）10時～16時

展示内容：絵画・陶芸・書道・手（工）芸などの美術作品、大型・参加型作品等

3 イベント詳細

- ・本イベントは、令和2年7月に施行した「多摩市障がい者への差別をなくし共に安心して暮らすことのできるまちづくり条例」で目指すまち（共生社会）の実現に向けた取り組みとして実施しています。

- ・ 昨年度（令和3年度）から、多摩市若者会議のメンバーと市内障害福祉サービス等事業所の有志で多摩市障がい者美術作品展実行委員会を結成の上、これまで30回以上開催してきた「障がい者美術作品展」のスケールアップに取り組んでいます。

【スケールアップした点】

- (1) 令和3年度から名称を「ぱらあーと 多摩市障がい者美術作品展」から「ぱらあーと 多摩市みんなの美術作品展」に変更。令和2年度までは障がい者アートのみ展示だったものを、障がいのある人とない人の美術作品を同じ空間に展示
- (2) より多くの方に、障がい者アート等の鑑賞を通じて障害への関心と理解を深めていただけるよう、令和3年度から商店街会場を新設。また、SNSでの発信強化（ツイッター、Instagram：ぱらあーと多摩市みんなの美術作品展@tamapara_art）や、SNSでの拡散を狙ったパネル展示（パネルアートによるフォトスポット設置）等の取り組みを実施
- (3) 今年度からの新たな試みとして、令和4年10月30日に聖蹟桜ヶ丘駅周辺で開催された「せいせき音フェス2022」のコラボ企画として、飲食店・公共施設などのコンサート会場に障がい者アート等を展示する取り組みも実施

▽主催 多摩市

▽主管 多摩市障がい者美術作品展実行委員会

▽協力 UR都市機構、豊ヶ丘・貝取商店街

<別添資料> ・ PRチラシ

問い合わせ**I アイランド講演会について**

くらしと文化部文化・生涯学習推進課

電話：042（338）6882

II みんなの美術作品展について

健康福祉部障害福祉課

電話：042（338）6847